

New  
Engineering  
Progressive

- |                               |                 |
|-------------------------------|-----------------|
| 東京セメント工業(株)                   | ●03 (3263) 7788 |
| (株)常盤コンクリート工業所                | ●048 (875) 1531 |
| 館山コンクリート(株)                   | ●0470 (22) 1589 |
| (株) 日 東                       | ●0492 (83) 5181 |
| (株) 武 井 工 業 所                 | ●0299 (23) 2196 |
| アルファダイヤモンド(株)                 | ●0423 (62) 4070 |
| 富士コンクリート工業(株)                 | ●0422 (53) 1221 |
| 住建コンクリート工業(株)                 | ●03 (3357) 0371 |
| (株) 茨 中                       | ●0296 (77) 1135 |
| 富士コンクリート工業(株)                 | ●0276 (82) 2227 |
| (株) カ ネ ヤ ス                   | ●0463 (75) 0701 |
| 東洋コンクリート工業(株)                 | ●0292 (47) 3800 |
| ヨ シ コ ン (株)                   | ●0546 (22) 0611 |
| 日本コンクリート(株)                   | ●052 (793) 1151 |
| スギヤマコンクリート(株)                 | ●052 (761) 5356 |
| (株)丸治コンクリート工業所                | ●0572 (22) 6175 |
| 拓植コンクリート工業(株)                 | ●0592 (32) 2555 |
| (株) ネ オ ジ オ                   | ●0596 (22) 1285 |
| ト ク コ ン (株)                   | ●0537 (26) 2221 |
| 淀コンクリート工業(株)                  | ●06 (372) 3218  |
| 京阪コンクリート工業(株)                 | ●075 (631) 3231 |
| 阪 神 工 業 (株)                   | ●0794 (67)      |
| 阪和コンクリート工業(株)                 | ●0722 (41)      |
| 双和コンクリート工業(株)                 | ●0773 (23) 0331 |
| 日進コンクリート工業(株)                 | ●07442 (2) 6641 |
| 光コンクリート工業(株)                  | ●0775 (87) 2101 |
| (株) シ ミ ズ                     | ●0795 (32) 3250 |
| 加西コンクリート(株)                   | ●0790 (48) 2661 |
| (株) 糸井セメント工業                  | ●0772 (46) 4791 |
| ラ ン デ ス (株)                   | ●0867 (52) 1141 |
| 出雲コンクリート工業(株)                 | ●0853 (23) 2633 |
| 山陽ブロック工業(株)                   | ●082 (293) 1020 |
| 藤田建材工業(株)                     | ●0829 (74) 0091 |
| 長尾コンクリート工業(株)                 | ●0878 (31) 1695 |
| 日本コンクリート工業(株)                 | ●0899 (64) 2193 |
| (株) カ ン ケ ン                   | ●0875 (25) 3427 |
| 富士建設工業(有)                     | ●0886 (42) 1477 |
| 日 本 興 業 (株)                   | ●0878 (31) 2828 |
| (株) 西 田 興 産                   | ●0893 (25) 0211 |
| (株) 九 コ ン                     | ●092 (741) 5731 |
| 大建コンクリート(株)                   | ●0977 (24) 5411 |
| 協立コンクリート工業(株)                 | ●096 (293) 4332 |
| 不二高圧コンクリート(株)                 | ●096 (356) 8585 |
| インフラテック(株)                    | ●0992 (23) 9911 |
| 沖縄建設工業(株)                     | ●098 (857) 0081 |
| (株) 沖 坤                       | ●0980 (55) 2711 |
| 不二コンクリート工業(株)                 | ●0954 (23)      |
| 大建コンクリート工業(株)                 | ●092 (771) 6211 |
| セイナン工業(株)                     | ●0196 (36) 0320 |
| 吉田セメント工業(株)                   | ●0242 (27) 4328 |
| 東栄コンクリート工業(株)                 | ●0236 (43) 1144 |
| 若松コンクリート(株)                   | ●0186 (55) 0181 |
| 東 成 産 業 (株)                   | ●0198 (24) 5311 |
| 沖田コンクリート(株)                   | ●0125 (54) 1255 |
| (株) 鋼 商                       | ●01452 (5) 3111 |
| 日本高圧コンクリート(株)                 | ●011 (241) 7101 |
| 永井コンクリート工業(株)                 | ●0257 (47) 2331 |
| (株) 高 見 澤                     | ●0262 (28) 0111 |
| (株) ミ ル コ ン                   | ●0776 (52) 8009 |
| (株) ケ ン チ                     | ●0766 (52) 0113 |
| 技術指導                          |                 |
| (株)建設企画コンサルタント                | ●06 (441) 4613  |
| 原 田 (株)                       | ●03 (3494) 2331 |
| 事務局                           |                 |
| 〒613 京都市伏見区淀本町225 建設コンクリート工業会 |                 |
|                               | ●075-632-0840   |

# NEP

## REPORT

エヌ・イー・ピー レポート

Vol.7



がんばれ!!フレッシュヤーズ

仕事の上で  
得意分野をもて

ランデス株式会社  
代表取締役社長 大月 隆行



桜前線が、取り沙汰される頃になりますと、各企業、各職場に新入社員を迎える時期になります。

新入社員の方々も、初めて社会人として独立することへの期待と不安をいただきながら、新しい門出をすることになります。受け入れる企業等の方でも、フレッシュな風への期待と、一日も早い成長への願いを強く持っております。

入社当初は、社風も実感として理解がゆきわたらず、又仕事の内容についても、十分のみこめない部分が、多分にあるかと思いますが、是非「やる気」

を前面に出して頑張りたいものです。さて、人間一生の間にいろいろと絶えず勉強することが多い訳であります。しかし、お互いに平凡な者同志ですので、短い期間に広い範囲での造詣を深めることは至難のわざです。そこで提案したいのが、仕事の中で、あるいは仕事を通じて是非「得意な分野」を持って欲しいと言うことです。

なる程これなら、人後に落ちないぞ、といえるものを持つとしますと、相当深い勉強が必要ですし、実績がつくと他人から注目されるようにもなります。一層仕事への興味や向上心も育ってきます。得意分野を柱にして、逆にその輪の中で別の分野の知恵や知識も得られることとなります。この積み重ねが、やがて皆さんをして、なくてはならない人材に育ててゆくこととなります。人間の成長は、これで良いと言う終点はありません。現状に甘んじることは、即ち退歩であるとの認識を持ち、大いなる向上を期待しております。

思い出があります。今思えば会社や、お得意先の方々もよく我慢して、付き合っていたと感謝しております。周りの方すべてが私の先生であったと思います。

今春新しくNEPグループの会社に、入られた皆さんに一言、私よりのお願いです。NEPグループと言っても、日本全国まちまちな会社のグループで、規模・内容・将来の方向など違ういろんな会社の集まりです、しかし、このNEPグループに、あなた方の所属された事業所が参画されているということは、あなた方の上司・経営者・会社は、常に、新しい技術、新しい製品開発、新しいコンクリート二次製品業界を、つくりだす事に積極的であり、そのため努力は、惜しまない会社であるということです。

そこで、皆さんには、今までに培ってきた豊かな感性・若々しい創造力を失わず、積極的な行動で素晴らしい社会人となる事に努力してください。楽しみにしております。NEPグループは、若い風・若い力を応援します。

若い風・若い力に

株式会社 九コン  
福岡南部営業所 小林 幸市



一日一日と暖かくなり、心弾むような気持ちになるこの頃ですが、新しく社会人と、なられた皆さん、どの様な気持ちで、過ごされて居ますか。自信たっぷりの人、意欲満々の人、新しい環境にとまどい少し不安な気持ちの人、今まで想像していた通りであった人、また、違った人と、いろんな方々が、新しい生活に挑んでいると思います。

私が、(株)九コン(当時は九州コンクリート株式会社)に入社した当時を、振り返って見ると、まったく知識のないコンクリート業界に入り、見る事、聞くこと、初めての事ばかり、毎日毎日が、新しい事ばかりで一年が、あっという間に過ぎてしまった

秘められた  
可能性

東京セメント株式会社  
社長室採用担当 住田 欣也



新入社員の皆さん。入社おめでとうございます。初めて社会人となった気持ちは、いかがなものでしょうか?とは言っても、今は期待と不安で一杯かと思いますが……。

新入社員の方へのメッセージと言っても、私も偉そうな事を言える立場ではありませんが、「参考になるなあ」というところだけ覚えておいて下さい。

まず、仕事というものは自分の為にするという考え方です。「会社の為」も必要ですが、今は固く考えないで下さい。しかし、自分の為イコール会社のためだという事は事実なのです。自分の為に働く上で大切な事は、必ず目標を持つ事です。何でもよいのです。そしてプライベートを大切にすること。プライベートを充実させてこそ、いい仕事ができるものです。

また、職場では皆さんの優しさをフルに出して、常に思いやりを持って行動をとっていただきたいと思っております。特に女子社員の方をお願いしたいのは、

時間の無駄を  
省くには

京阪コンクリート工業株式会社  
京都営業所 奥田 賢二



新入社員の方々、もう学生気分はぬけましたか? 社会人としての自覚はありますか? 皆さんはまだなにをしたらいいのか、どうしたら、どうすればいいのか分からないのではないのでしょうか。

そのときはまず、先輩に聞きましょう。一人でチツポケなことをちまちま考えてても時間のむだで

努めて明るくしていただきたい。会社は職場の雰囲気がとても大切です。その鍵を握っているのは、そう、女子社員だと言っても過言ではありません。会社の評価は、女子社員の対応や雰囲気などでも出てまいります。「私が会社の評価を上げてあげる」そう心に誓って下さい。

仕事に関してですが、誰も初めからプロではありません。先輩社員に「何かわからない事は聞けよ」と言われても、何がわからないのかわからないと思います。仕事は与えられるものではなく、自分で探すものとして、良き先輩に何でも聞いて相談して下さい。それが先輩社員にしてみると、うれしいものなのです。

最後になりますが、これだけは絶対に忘れないでいただきたい。それは、「挨拶」です。挨拶にはいろいろな形がありますが、一日の生活は挨拶で始まり、挨拶で終わります。会社も同じで、挨拶を抜きにしては成り立ちません。特に女子社員の方(二度目の呼びかけ)、営業など外に出る方に「いってらっしゃい」「お帰りなさい」の女性の声と笑顔は、「さあ、やるぞ!」という活力の素にもなる、すごい魔力を持っているものなのです。

さて、新入社員の皆さん。少しでも参考になりましたでしょうか? 皆さんの中に秘められた可能性をフルに生かして頑張ってください。

す。新人のときはどんどん聞いて教えて貰いましょう。そうしてわかっていくのです。新人の時だけです、何の気がねも無しに聞けるのは。そして失敗しても気にしない、失敗できるのも新人の時だけです。でも何回も何回も同じ様なことで失敗するのだけはやめましょう。

とにかく社会人としての自覚はもつようにしましょう。皆さんも学生時代にアルバイトをしていたとおもいますが、いったい社会人となりが違うのか? 同じように働いて、お金をもらってなにが。それは、責任と自分自身の心構えだと思っております。アルバイトは、本業があつてのアルバイトです。片手間なのです。

皆さん、これからこの土木業界メーカーの一員として一緒にがんばっていきましょう。

# 特集 頑張れフレッシューズ

SPECIAL EDITION

## 失敗を恐れず、挑戦を

日本興業株式会社  
総務部 人事課 水原 理栄



私が社会人となって1年が過ぎようとしています。もし、「昨年より自分が成長したと思いますか?」と問われれば、私は即答できないでしょう。何故かといえば、毎日上司や先輩に言われた仕事はある程度はこなしていますが、自発的に自分からこれをしようと思った仕事ではありませんし、今でも初歩的なミスを繰り返すことがあるからです。以前、ミスをした時に「もう同じミスは繰り返さないぞ。」と思ったのですが、しばらくするとまた同じミスをしてしまったり・・・。

人間ってそんなに賢い動物でもないもので、一度経験したり、聞いただけで完全に覚えるというのは難

しいと思います。そのためには、どんな小さなことでも、何か書き留めておけば良いのではないのでしょうか。こんなに偉そうに書いている私ですが、今までは書き留めるということが全くできていませんでした。最近ノートを作って先輩から教わったことをメモするようにしたのですが、後になってもう一度先輩に教えてもらうということが、だいぶ減ってきたように思います。それでもまだまだ自分一人ではできないことや判断しにくいことは沢山あります。

だから、新入社員のみなさん、そんなに不安がることもないと思います。最初からなんでも完璧にしようと思っていたら疲れてしまうんじゃないですか? 失敗を恐れず、何にでも挑戦したほうが良いと思います。失敗しても誰かが注意してくれるはずですし、注意されればやり直せばいいのですから。これから段々と大変な仕事を任されたり、仕事の量が増えてくるようになると思いますが、めげずに頑張ってください。



# NEP工業会アンケート調査結果

## 新入社員のホシネ

※NEP工業会会員社に対して平成6年2月に実施したアンケート。  
2月時点で入社1年未満の若手社員を対象としました。(回答者数 88人)

### ■アンケートデータ

#### ●アンケート対照者



男性・35名



女性・39名

#### ●年齢

19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳以上
13人	10人	16人	7人	7人	9人	2人	4人

#### ●所属部署

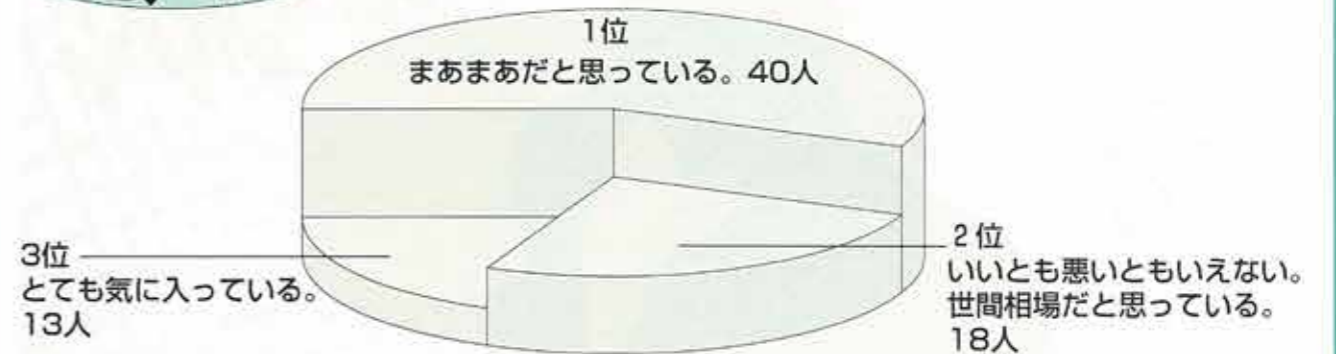


#### ●学歴



### Q-1

あなたは自分が勤めている会社を気に入っていますか?



\* 「あまり居心地がいいとはいえない」 1人 「できれば早くやめてしまいたい」 は回答者なし。

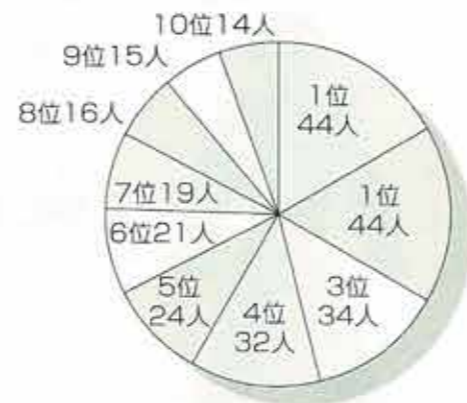
# 新入社員 の ホンネ

## Q-2

あなたは自分の会社や職場をどう評価していますか。

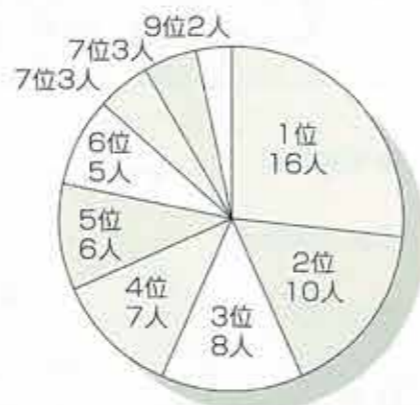
◆評価の高いもの（「良い」の回答数）

- 1位 先輩との人間関係 44人
- 同僚との人間関係 44人
- 3位 上司との人間関係 34人
- 4位 会社の理念、方針、目標等 32人
- 5位 自分に与えられた仕事に満足している 24人
- 6位 自分に対する会社・上司の評価 21人
- 7位 本社としての教育体制 19人
- 8位 職場での教育体制 16人
- 9位 福利厚生面 15人
- 10位 収入や休日面 14人



◆評価の低いもの（「悪い」の回答数）

- 1位 収入や休日面 16人
- 2位 会社の理念、方針、目標等 10人
- 3位 福利厚生面 8人
- 4位 本社としての教育体制 7人
- 5位 職場での教育体制 6人
- 6位 自分に与えられた仕事に満足している 5人
- 7位 上司との人間関係 3人
- 自分に対する会社・上司の評価 3人
- 9位 先輩との人間関係 2人
- 10位 同僚との人間関係 0人



# 新入社員 の ホンネ

## Q-3

Q-2質問の中で特にうまくいっているものは？

### 1位 同僚との人間関係 80人

- ☆仕事においてお互いに相談・協力し合えるし、プライベートでも仲良くしてとても心強い存在。
- ☆4月からの研修期間で協力し合えるようになった。  
(チームワークがうまくいっている)
- ☆仕事を通しての人的側面を見るのがおもしろい。
- ☆人間関係が円満。

### 2位 先輩との人間関係 76人

- ☆わからないことなど親切に教えてくれる。
- ☆社員全体がとても仲がよく、仕事抜きでも話ができる。
- ☆いろいろ相談でき、話し合える。

### 3位 上司との人間関係 57人

- ☆失敗があってもきちんと対処してくれ、仕事を任せてくれる。
- ☆いろいろ教えてくれ、よく面倒をみてくれる。
- ☆自分の話を聞いてくれるし、すべてにおいて話し合える。

\*以下はどれも20~30人程度で大差はなく、上位3項目がダントツであった。

#### その他

##### ●理念・方針について

かなり具体的に示されている  
入社時の教育で理解

##### ●収入・休日について

休日が多い、収入も多い

##### ●福利厚生面

女性に対する配慮が見られる  
宿泊施設やテニスコートなど充実

##### ●与えられた仕事について

同じことの繰り返しではなく、毎日が違うこと  
の連続なので楽しいし、仕事に対してやり  
がいを感じる  
十分満足している。能力を十分に発揮できている  
専門学校での知識を生かしている

##### ●自分に対する会社・上司の評価について

良いこと悪いことをその場で指摘してくれる  
自分でもやっているという自信があり、それ  
を評価してくれている

# 新入社員 の ホシネ

## Q-4

Q-2質問の中で特にうまくいっていないものものは？

**1位 収入・休日面 88人**

- ☆給料、休日が少ない。もっと増やしてほしい。
- ☆仕事に見合った収入にしてほしい。(収入に差をつけてほしい)

**2位 職場での教育体制 40人**

- ☆新入社員を迎えるに当たっての体制があやふや。
- ☆基本的な事などもっと教えてほしい。

**3位 福利・厚生面 36人**

- ☆社内の娯楽施設がない。
- ☆住宅条件が良くない。社宅や寮などの施設をつくってほしい。

\*以下は20人前後でどれもほぼ同数。

### その他

#### ●理念・方針について

具体化されていても実行力が足りていない  
まだ設定中のため十分でない

#### ●本社としての教育体制

仕事の引き継ぎがうまくいっていない  
社内教育に参加する機会が少ない  
十分な研修を受けてないためわからないことが多く、迷惑をかけた  
新入社員研修は整っていたが、その後の研修がない

#### ●職場での教育体制

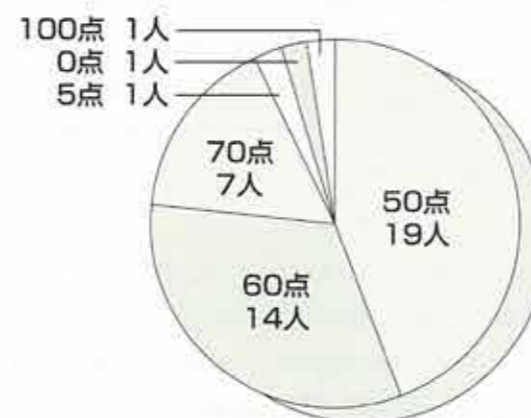
中途採用者にも新入社員教育をしてほしい  
新入社員を迎える体制があやふや  
研修は多数あるが、商品や仕事に直接関係するものがない  
各業務の全体の流れを示してくれない

# 新入社員 の ホシネ

## Q-5

あなたはこの1年間の自分を振り返って、会社にとって100点満点中何点だったと思いますか？

**平均点 55点**



### ☆低得点

- ◆まだ自分の仕事が知識や理解不十分のためやりこなせなかった
- ◆自分自身頑張っているが、まだまだ勉強不足で一人前でない
- ◆覚えが遅いうえに同じ間違いを何度も繰り返す、迷惑をかけてしまった
- ◆自分の意見をはっきり示せなかった
- ◆今はまだ会社全体を見る余裕がないので、点数はつけられない(得点は無回答でした)
- ◆自分の能力と仕事があっているかどうか疑問、まだ要領がつかめていない
- ◆いつも時間に追われていて、計画的に進まない
- ◆具体的な仕事の担当がまだないから
- ◆仕事の数が多いとするとまだ5つぐらいしか覚えてないから(得点は5点でした)

### ☆70点以上

- ◆自分なりに精一杯頑張っているし、与えられた仕事はそれなりにこなしていると思う
- ◆少しでも役に立てたと思うから
- ◆完璧
- ◆十分貢献できていると思う

## Q-6

新入社員として入社してきたころ、自分がもっと会社にしてほしかったことは？

- ◆基本的なマナーだけでなく、実際に仕事に役に立つような専門分野の知識の教育、実習等をもっとしてほしかった
- ◆少しでもいいから中途採用者にも新入社員研修をしてほしかった
- ◆現場社員研修がすくなかった。もっとしてほしい
- ◆研修で、お茶だしや電話、来客時の対応などのマナーをもっと教えてほしかった
- ◆自分の仕事の役割をもっと明確に教えてほしかった
- ◆社内イベントの盛り上がり

- ◆職場の雰囲気をもっと明るくしてほしい
- ◆会社の施設の充実
- ◆入社後の研修も行ってほしい
- ◆給料の検討、いろいろな行事
- ◆会社側から見た自分に対する考えを早くだしてほしい
- ◆住宅手当、寮があってほしい
- ◆福利厚生施設の具体的な説明
- ◆QC活動、営業展開についての説明
- ◆社内に音楽を流してほしい
- ◆お金くれ、休みくれ

# 新入社員 の ホンネ

## 《アンケート集計結果のまとめ》 いまどきの新入社員のホントの気持ち



株式会社 ネオジオ 下村 佳津子

みんな考えていることはおんなじなんだなあ、というのがこの集計結果を見た最初の感想でした。今の会社にそこそこ満足していて、先輩、上司、同僚ともうまくいっている。あと欲を言えばもっと給料と休日がほしい。そんなところではないでしょうか。しかし中には、かなりシビアな答えやユニークな感想もありましたが・・・。

まず目についたのは、とても人間関係がうまくいっているということ。とくに同僚においては、会社でのいろんな悩みや相談だけでなく、プライベートでもかなり親しくしているようです。私自身もそうなのですが、同僚の存在というのはとても心強いものだと思います。そして先輩、上司との関係。世間一般では上司といえはまだまだ目の上のタンコブ的存在のイメージがありますが、今回のアンケート結果ではそんなところはほとんど見受けられませんでした。もしかしたらこれはこのNEP工業会のアンケートだからではないでしょうか。NEP工業会が日頃から行っている新入社員から管理職にまで及ぶ研修の成果ではないでしょうか。

「うまくいってないもの」の回答が多かったのは、休日、収入面でした。年々改善されているとはいえ、まだまだ充実できていない部分があるのだと感じました。その他、福利厚生施設の面ですが、社内に娯楽施設を設けてほしいとか、社宅や寮なども設けてほしいという意見がありました。

「あなたはこの1年間を振り返って会社にとって何点だったと思いますか」という質問に対する答えですが、1年間で出来るようになることは多いようで少ないことを実感しました。何年、何十年勤めていっしょの先輩や上司に比べれば、私たちはまだまだ半人前と言えそうです。全体的に見て、まだまだ会社には貢献できていないという弱気な意見が多く、「ミスばかりして迷惑を掛けてしまった」、「ま

だ自分自身に得点をつける余裕が無い」などの理由から0点をつけた方もいました。確かにミスは良くないのですが、今はベテランの上司も一度は通った道ということで少しは大目に見てくれているのではないのでしょうか。それに少しでも役に立てたのだという自信も、もっていいと思います。まあ、なかには100点満点をつけ、「完璧」といいきったシアセな方もいましたが・・・。

新入社員として入社してきた頃、してほしかったことは、研修に関することがほとんどでした。面白いことに、男性は製品などの専門分野に関する研修を、女性は電話の応対や接客の仕方、お茶だしのマナーなどの研修を希望しているようです。もっと仕事に直接関係する内容を、という声も多数ありました。まだ入社間もない社員にあれこれ教えるのも理解できないだろうという会社側の配慮もあると思うのですが、意欲的な社員の存在も理解していただき、その他の新入社員が居眠りをしない程度の研修をぜひ行っていただきたいものだと思います。

その他、ユニークな意見として、仕事中に社内に音楽をかける、というのもありました。おっ、これはなかなかいいなあ、朝一番に自分の大好きな曲；流れたりすることになれば、朝の苦手な私も遅刻がなくなるのではないかな、などと勝手なことを思ったりしました。

今回のアンケート、かなり本音が出ていたように思います。日頃大きな声では言えない愚痴のような意見もありましたが、まだまだ半人前の私たち、お給料をいただいている以上、会社のために日々努力を重ね、積極的に仕事に取り組んでいくことが私たちの義務であると思います。

# 新入社員教育実態調査

## 新入社員を迎えるにあたって

NEP工業会会員の総務担当者を対象に行ったアンケートです。  
新入社員研修の実態を調査しました。(回答社数 49社)

### Q-1 平成6年度に新入社員をお迎えになりますか？

YES .....33社  
NO .....14社

### Q-2. その構成は？

#### ■全体

		大卒	短大卒	専門学校卒	高卒	中卒
事務	男性	90人	6人	14人	21人	0人
	女性	9人	13人	8人	17人	0人
現場	男性	8人	0人	3人	25人	2人
	女性	3人	0人	3人	3人	0人

#### ■平均

		大卒	短大卒	専門学校卒	高卒	中卒
事務	男性	2.0人	0.1人	0.3人	0.5人	0人
	女性	0.2人	0.3人	0.2人	0.4人	0人
現場	男性	0.2人	0人	0人	0.5人	0人
	女性	0人	0人	0人	0人	0人

### Q-3 御社では新入社員研修を

行っている .....38社  
行っていない .....6社

### Q-4 行っている場合、その内容は？

1.会社概要 .....34社  
技術一般 .....33社  
製品知識 .....33社  
4.入社式 .....31社  
5.規定類 .....30社  
5.現場研修 .....30社  
(平均 男性 34日間 女性 9日間)  
7.一般常識 .....29社  
8.その他 .....6社  
地元のお寺にて一泊研修、上記の1~7に関する試験、実践行動目標・自己革新目標の設定、外部講習受講、会食など。  
9.モチベーション .....5社

※上記の研修はどこの会社もほぼ行っているようですが、モチベーションを行っている会社はまだ少ないようです。

### Q-5.社内での研修は誰が担当しますか？

管理者 .....39社  
若手社員 .....8社  
社外講師 .....6社

### Q-6.社内での研修の日数と経費予算は？

平均  
所要日数 .....22日  
経費予算 .....11万円

### Q-7.新入社員研修を外部の教育期間で実施したことがありますか？

YES .....25社  
NO .....24社

### Q-8.外部の教育機関にて研修を実施したとき、どの様なテーマで行いましたか。

1.一般常識 .....26社  
2.自己啓発型 .....11社  
3.営業・生産・経理・事務などの専門知識 .....8社  
4.自己管理型 .....7社  
5.コンクリートに関する専門知識 .....4社

### Q-9.社外研修での日数と経費予算は？

平均  
所要日数 .....4日  
経費予算 .....150,000円

### Q-10. NEP工業会で新入社員研修を行った方がいいと考えますか？ また、その所要日数と一人当たりの経費予算は？

YES .....18社  
NO .....18社  
所要日数 .....3.25日  
経費予算 .....41,000円

## 波を見ずに潮を見よ

原田株式会社

代表取締役 原田 理一



今世紀が終わるのは、まだまだ遠い先のことというイメージだが、もう7年しかない。7年という年月の感じをつかむには、7年前を考えてみれば良い。バブルの初期である。この7年間に、日本経済は非常に高い頂上と、深い谷底を味わった。これを正確に予想した人は皆無であろう。

世界をみると、東西ドイツの合併があり、ソ連がなくなり、東西の冷戦が終わった。これらも又、全く予想外の出来事であった。

21世紀の足音が、次第に大きくなってくるこの7年は、どんな時代になるだろうか。

ノストラダムスの大予言によると、黒い病が猛威をふるい、テロが横行し、天変地異が起こって、1999年は人類滅亡の年とある。

この大予言は400年以上も昔に書かれたもので、これまでの世界の大きな出来事を非常に良く言い当てているそうである。

確かに、日本の去年1年間に発生した火事の20%が放火であるというし、ロスの2度の大山火事も放火であるらしい。簡単に人を殺せる連中も増えているし、世界各地で大地震も相次いでいる。「黒い病」とはエイズのことではないかといわれているが、その拡大のテンポは早く、今や、アメリカの企業でエイズ患者のいない所はないというところまで来ている。ノストラダムスの大予言が当たらないで欲しいとは思うけれど、当たりそうな流れではある。勿論、企業の舵取りに大予言を信じるわけにはいかないが、予測が非常に難しい時代になりつつあることだけは確かであろう。

我々実業の世界にいる者は、企業を取り巻く環境の変化を出来るだけ早く感じとって、対応せねばならない。「感じとる」能力を磨くことが、これから

の経営者の大切なことであろう。

人間というものは、好景気の真っ只中にある時がまだまだこれが続くと強気になりすぎる。逆に今頃のような不況になると、政府が何かをしてくれなければ、日本経済がこわれてしまう様な、二度と好景気が来ないような感覚になってしまう。最近のジャーナリズムの問題点でもあるのだが、こういう感覚を助長する論評が、世の中にあふれている。

株の動きを見ているとよく分かる。企業は、資産があり、収益力があり、人材があり、いろいろのファクターから、一株の価値というものがある。そして、この価値に見合う価格というものがある。しかし株価は需給関係で上下する。従って、割安になった時に買い、割高になった時に売れば、理論的には損をしない。過去の例をみても、割高、割安は必ず是正されている。ところが人々の感覚は、下がればもっと下がると思い、上がればもっと上がると思う。本当は大きく下げれば買い場をさがし、大きく上げれば売場を探さねばならない。

「感じとる」能力とは、波を見ずに潮を見ることによって、磨かれる。

感覚が、事実関係とかなりズレがある例をもう1つあげてみよう。

経済企画庁が「生活の豊かさ指標」を試算した。「住む」「働く」「自由時間」の3つの分野に関する複数の社会生活統計指標に、「国民生活選好度調査」結果から得た国民の意識をウェイトづけし、地域別に生活の豊かさを比較したものである。この結果は意外なもので、東京圏は殆ど最下位で、山梨県がトップに近い(図参照)。然るに、県民所得で比べると、東京を100とすると、地方は50以下である。「豊かさ」というものが次第に変化している点に注

目せねばならない。とはいえ、今や日本の豊かさの平均値は国際的にみて、相当高いレベルである。

私は、50数回訪欧しているが、昨秋、初めて旧東ドイツへ行く機会を得た。その貧しさは、予想をはるかに越えていた。東ドイツ製の車はまだかなり走っているが、最高時速は50キロ、レストランを見つけるのは大変である。ドイツはヨーロッパの優等生だが、今や失業者は600万人。この数字は、1929年の大恐慌以来である。しかも、これには企業内の実質的失業者や、毎年なだれ込む50万人といわれる難民を含んでいない。消費税は17%。

フィンランドは、北欧の日本といわれていたが、GNPは急減し、約半分になった。米国は財政赤字タレ流しの中での景気回復である。いずれ限界が来よう。

日本企業の海外生産比率は、GNPの6%を越えた。安い輸入品比率も急増が予想される。日本経済

も、新しい組立てを必要とする時代になる。我々の業界も例外ではありえない。経営というものは、今手を打って明日結果が出るものではない。又、これから体験する経営環境の変化は、単一の因子によるものではない。

短期的な需給動向に対しての布石という事ではなく、新しい時代、新しい潮の流れに挑戦する気構えで、改革に取り組みたい。



## L型擁壁の現状

京阪コンクリート株式会社

技術部長 畑 実



擁壁の設計にあたっての主要な検討項目は、1.擁壁を含む地盤全体の安定、2.擁壁の(1)転倒(2)地盤の支持力(3)滑動に対する安定、3.断面力に対して部材耐力が一定の安全率を満足することであり、本報では第2項について若干触れたいと思います。

擁壁を検討する上で、重要なことは、土質常数(C, φ, γs等)は勿論、上載荷重の大きさ(q)・位置・擁壁の底版と基礎地盤との摩擦計数(μ)などの設計条件の設定と土圧の算定法であります。土圧の算定法は一般的には、試行くさび法とクーロンの土圧係数法が用いられ、土木用では前者を、建築用(宅地造成等規制法・施行令および建築基準法・

施行令に基づく大臣認定擁壁)では後者を採用しています。

前述の設計条件に関して土木用の場合、上載荷重の大きさは主にTL-25(q=1.0t/m<sup>2</sup>)として与えられるが、その位置については各地方建設局、都道府県で統一されていないようです。表-1に(社)全国宅地擁壁技術協会が、1992年10月、主に都道府県の道路建設担当課に対して行ったアンケート調査結果を参考としています。

この調査結果によると、50%強が建築用と同様であるが、その他はもっと安全側の設計を行っているようです。

また擁壁の形状及び構造は滑動の安定解析に支配

されることが多く、摩擦係数(μ)の値に決定されると言っても過言ではありません。μの値は建築用では、「擁壁を確立された築造仕様に従って施工することを条件に設計ではtanφ(≦0.6)」としています。一方土木用として設計する場合は(社)日本道路協会「道路土木-擁壁・カルバート・仮設構造物工指針」に従っており、本指針によれば、「場所打ちコンクリートの場合はμ=tanφ、場所打ちでない場合はμ=2/3φとする。」としています。この文章の解釈については色々議論があるようですが、一昨年の建設省・全国道路工事課長会議では前述指針のとおりプレキャストの場合はμ=tan2/3φと決定されました。したがって大臣認定擁壁はほとんどの場合に土木用として使用できないことになり、プレキャストメーカーの対策としては、底版長を長くできる兼用タイプの型枠の開発或いは土木用として新たなタイプの製品を開発し対応しているようであります。



現在前述指針は、プレキャストも含めた新技術・新工法の普及への対応として、平成6年度末発刊にむけて改訂作業が進められており、(社)全国宅地擁壁技術協会では、μの取扱いに対して、「大臣認定擁壁のように製造および築造仕様の確立されたものに対してはμ=tanφ」を考慮して下さるよう、擁壁工指針改訂分科会のアンケート調査に対し回答書を提出しています。その根拠付けとして、同協会・技術委員会では確認のための実験を行うことが重要と考え、実験計画について建設省土木研究所と協議を行っています。

我々プレキャストメーカーとしては、実験結果が改訂版に十分生かされるよう朗報を期待致したい。

表-1 アンケート調査結果

上載荷重の位置	case-1	case-1	case-1	その他	計
	1	2	3		
件数	31	1	19	6	57
割合(%)	54.4	1.8	33.3	10.5	100

需要委員会報告

需要委員会  
委員長 黒川 信夫



日頃より、需要委員会に多大なる御協力をたまわり厚く御礼申し上げます。

本年度 需要委員会では「商品・工法等の創造・需要開発に係わる社会のニーズを収集・調査をして活性化した工業会として、情報交換の場づくりと研究をするものとする。」の方針のもと活動しております。

さて、昨年 NEP工業会取扱製品と類似した製品における会員全社の実態調査をいたしましたところ、63社中 55社(87%)の回答をいただき、ありがとうございました。

つきましては、集計結果を御報告させていただきます。今後 集計結果をもとに委員会一同 より活性化した工業会をめざし活動してゆく所存でございます。

何卒、今一層の御協力をお願い申し上げます。

(1) NEP工業会取扱製品及び工法 (建設局別)

(会社数)

	NEP工業会取扱製品及び工法														他社から仕入れ販売している					合計	
	生産・販売している																				
	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄	合計	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国		九州
1 SPブロック (I-II型)	2	1	2	1	1	2	2	3	4	18			1	1	2					2	6
2 SPブロック (III型)		2	2	1	1	3	1	5	2	17				1	3	1	2				7
3 ウォルコン (0.5t/m <sup>2</sup> )	1		4	3		2	1		3	15			1	2		2	1				6
4 ウォルコン (1.0t/m <sup>2</sup> )	1	1	5	5		2			3	18			1	2	2		1	2			8
5 ウォルコン (宅認0.5t/m <sup>2</sup> )	2	3	10	4		3	2	3	4	32		1		4		5	1	2	1		14
6 ウォルコン (宅認1.0t/m <sup>2</sup> )	2		6	4		2		3	3	21			1	2		3	2	2			10
7 HEP水路	1		1		1	1				5						1	1	1			3
8 Q排水ブロック			1			2		1		5	1								1	1	3
9 あげくらし式方格ブロック			1		1		1		1	4				1							1
10 TTC相立水槽			1							1											0
11 エプロン付歩道境界石			1			2	1			4			1	3		1	2	1			8
12 ニューロングU			3		1	2	2	1		9			2	2		2	1				7
13 生棲号				1		2	2	1	1	7			1		3		1				5
14 間詰め構築用張石										0				1							1
15 IT式L型水路						1				1				2							2
16 アルタミラ (車庫)						1				1				1							1
17 L型擁壁用吊具									1	1				1		1					2
18 ミルウォール		1	2	1		1	2		2	9				1							1
19 ハーモニー			1			2				3				1							1
20 ゼントル生棲号						1	1	1	1	3				1					1		2
21 FTフリューム			3		2	3	2	1	1	12			1	1		1	1	2	2		8
22 DV水路	1				1	2		1	1	6			1		2	1	1	1			6
23 斜筋版	1					2				3				1							1
24 KCカーラム (車庫)						1				1				1							1
25 KBウォール						1				1				1							1
26 スクウェア						1		2		3				1			1				2
27 どじょっこふなっこ	1	2	1		1	1	1	2		9					1	1					2



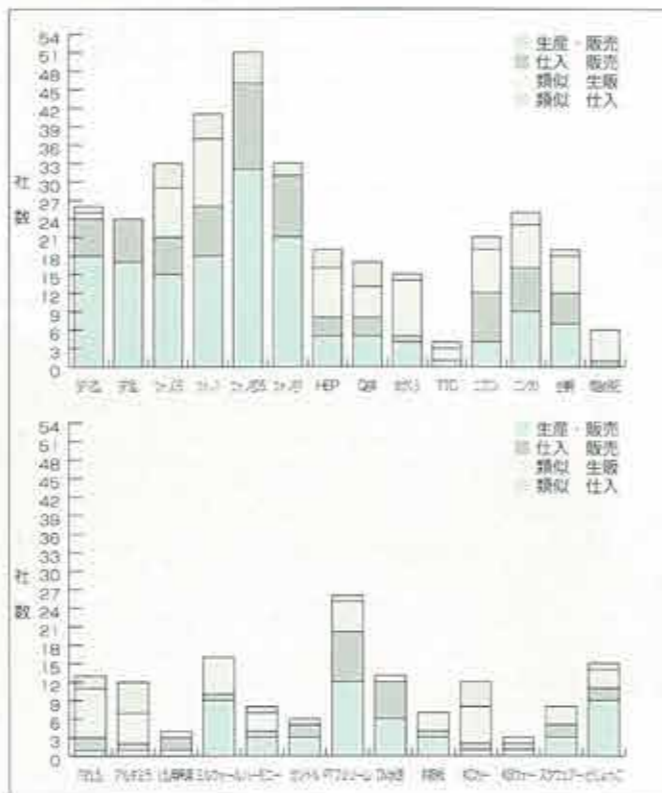
## (2) 類似した製品 (建設局別)

類似した製品	類似した製品 (会社数)																					
	生産・販売している										他社から仕入れ販売している											
	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄	合計	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄	合計
1 SPブロック (I-II型)								1		1												1
2 SPブロック (III型)										0												0
3 ウォルコン (0.5t/m <sup>2</sup> )	1	1	2	1	1			1		8		1	1	1		1						4
4 ウォルコン (1.0t/m <sup>2</sup> )		2	2	2	2			3		11		1	1	1		1						4
5 ウォルコン (宅認0.5t/m <sup>2</sup> )										0			1			3				1		5
6 ウォルコン (宅認1.0t/m <sup>2</sup> )										0			1		1							2
7 HEP水鏡		1	1			2		1	2	1	8					3						3
8 Q排水ブロック		1	2	1				1		5		1				3						4
9 あげくら式方格ブロック			1	1		1	1	2	3	9					1							1
10 TTC組立水鏡				1					1	2						1						1
11 エブロン付歩車道境界石		1	3			1		1	1	7			1			1						2
12 ニューロングU			2	1	1			1		7						1				1		2
13 生標号				1				2	1	2	6		1									1
14 間詰め構築用張石				1		2		1		5												0
15 IT式L型水鏡		1		1	1	1	1	3		8			1							1		2
16 アルタミラ (車庫)			1			1		3		5			2		1		1	1				5
17 L型擁壁用所具							1			1												0
18 ミルウォール		1		1	1	1		2		6												0
19 ハーモニー				1	1	1		1		3		1										1
20 ゼントル生標号								1		1												0
21 FTフリュウム		1		1				2		5										1		1
22 DV水鏡								1		1												0
23 斜筋版						2		1		3												0
24 KCカーラム (車庫)				1		1	1	3		6			1	1				1	1			4
25 KBウォール								1		1												0
26 スクウェア						2		1		3												0
27 どじょっこふなっこ						1		2		3		1										1

## (3) NEPI工業会取扱製品及び工法・類似した製品 (全国総計)

類似した製品	NEPI工業会取扱製品		類似した製品	
	生産・販売している	仕入れ販売している	生産・販売している	仕入れ販売している
1 SPブロック (I-II型)	18	6	1	1
2 SPブロック (III型)	17	7	0	0
3 ウォルコン (0.5t/m <sup>2</sup> )	15	8	8	4
4 ウォルコン (1.0t/m <sup>2</sup> )	18	8	11	4
5 ウォルコン (宅認0.5t/m <sup>2</sup> )	32	14	0	5
6 ウォルコン (宅認1.0t/m <sup>2</sup> )	21	10	0	2
7 HEP水鏡	5	3	8	3
8 Q排水ブロック	5	3	5	4
9 あげくら式方格ブロック	4	1	9	1
10 TTC組立水鏡	1	0	2	1
11 エブロン付歩車道境界石	4	8	7	2
12 ニューロングU	9	7	7	2
13 生標号	7	5	6	1
14 間詰め構築用張石	0	1	5	0
15 IT式L型水鏡	1	2	8	2
16 アルタミラ (車庫)	1	1	5	5
17 L型擁壁用所具	1	2	1	0
18 ミルウォール	9	1	6	0
19 ハーモニー	3	1	3	1
20 ゼントル生標号	3	2	1	0
21 FTフリュウム	12	8	5	1
22 DV水鏡	6	6	1	0
23 斜筋版	3	1	3	0
24 KCカーラム (車庫)	1	1	6	4
25 KBウォール	1	1	1	0
26 スクウェア	3	2	3	0
27 どじょっこふなっこ	9	2	3	1

(会社数)



## 技術開発委員会主催 第1回商品研究会



永井コンクリート工業株式会社  
技術課長 小森 幸弘

去る11月11日、グランドヒル市ヶ谷(東京)にて、工業会取扱商品「ミルウォール」の研究会が54名の会員の参加を得て行われました。まず冒頭の永井委員長の挨拶の中で取扱商品「ハーモニー」の実用新案取得のホットニュースが伝えられ、さい先の良いスタートとなりました。引き続き、ミルウォール開発社であるミルコン社・黒川社長から「開発の経緯」が語られ、「他社軽量タイプとの価格競争に負けた経緯から開発に着手」という点が印象に残っています。その後、配布資料についてそれぞれの担当委員より説明がなされました。以下、順を追って報告致します。

### (4) 『築造仕様書』 東セメ社・岩間次長

使用条件による適用範囲、コーナー処理、基礎関係、据付時の注意事項、凍土圧対策、管理事項等、経験・実験結果等を踏まえた理論的な説明を頂きました。

以上で配布資料の説明が終わり、東洋ゴムの「カセットフォーム」の説明、原田先生のご講評を頂き質疑応答へと移りました。

11月11日11時開催、1の並んだ縁起の良いスタートとなった第1回研究会は、商品・テーマを限定し、深く細部まで研究するという委員会の活動方針が強く感じられ、配布資料も実用性のあるもので、参加者から高く評価されました。得る物も多く、今までにない新鮮な研修会でした。

### (1) 『製品規格・設計』 ミルコン社・星田課長

本題の前にアンケート結果が発表され、実に26社の会員がミルウォールの実施・計画したいとの結果でした。本題では製品の区分、設計条件による使い分け、コーナー処理案、許容盛土高、土圧計算、断面計算等事細かな説明が続きました。ミルウォールの基本的部分の説明であったため、集中して聴くことができました。資料の見やすさ、まとめ方にも感心させられました。

### (2) 『製造仕様書』 出雲コン社・松浦次長

製造一般、検査基準、型枠等一連の説明を頂き、製造工程のビデオを見せて頂きました。

### (3) 『販売について』 出雲コン社・鎌田常務

セールスポイント、インスペク、物価版掲載の件、経済比較等の説明の後、ミルウォール採用の経緯が語られ、現在全て化粧物で販売しているとのことでした。



生産技術委員会  
研修会 1

東栄コンクリート工業株式会社  
白田 宣幸



平成5年11月18日・19日 2日間にわたりNEP工業会主催の工場見学（㈱武井工業所・明野工場）及び筑波土木研究所見学が行われました。

参加人数は、全国約55人でありその中の一人として、私も初めて参加させて頂いた訳ですが、このような機会は少なくこれからの人生において大変ためになったと思えました。というのは、事前に私事ではありますが当会社に入ったばかりで、何もわからないままで生産部の一員となり、このような集まりがあり他の会社も出てくるので大変勉強になるし、他の会社を見てくるのも良いと上司から言われ又、ロボット化した工場であると聞き興味を持ち参加することになりました。

18日には、同二次製品会社（㈱武井工業所さん）を見学させて頂きました。ロボット化した工場とは、ライン工場に人間が入り半自動化されている工場であると思っていました。二次製品では産業ロボットを使用しほぼ無人化することは難しいと思っていましたが、（㈱武井工業所さん）を見て大変驚いたしだいであります。

又、設備を見ますとほとんどライン化にしてあり今の時代の問題等を良く踏まえ、生産能率・生産量を良く重視している素晴らしい工場であると思えました。その外にメロディIC等を導入し安全性も重視し工場内も清掃されていて、製品も大変美しい工場であると思えました。

18日の懇親会においては、他会社の人々と懇親を深め話合ううちにNEP工業会加盟の会社は、他業者の二次製品会社の集まりであるが一つの目的で動いている企業にとっては、良い集まりであると思えました。

19日は、筑波研究所を見学し研究に対するスケールの大きさ及びこのような実験・研究の積み重ねがもとになり構造物が成り立つということが理解できました。

最後に、このような工場見学会を開いて頂いてNEP工業会事務局及び関係者の方々に大変感謝致します。今後又、このような機会がありましたら再度参加させて頂きたいと思えます。

生産技術委員会  
研修会 2

日本コンクリート株式会社  
中谷 直人



JR土浦駅をバスで出発し約1時間、長閑な田園風景の中に一際目を引くコンクリート製品のストック。そこが（㈱武井工業所さん）の明野工場でした。

61,000㎡の広大な敷地内には多種にわたる二次製品が整然と並べられ、普段見なれている製品とはまた違った趣がありました。

見学の中で最も興味を引かれたのは、比較的小型製品における非常に省力的・合理的な製造ラインでした。ボルト等をほとんど使用しないワンタッチ方式の型枠、フローレベルで移動する多種大量生産を実現可能にしたライン、バキューム設備を生かし、人力への負担を最小限にした工程等々現在弊社が課題としている項目に対しての大きな参考点をいくつも見出すことができました。

さらにもう一点、工場内が非常にきれいであるという点です。製品製造に伴い発生するコンクリートカスは、床にまき散らすことはせず、バキュームで吸い取るシステムであり、品質向上を伴う作業環境管理として是非とも見習いたい観点と思われま。

約2時間にわたる見学、説明、質疑応答の後、工場を後にして、その日はホテルマロード筑波で一泊、工業会各社の方々と親睦を深めるとともに旅の疲れを癒すことができました。

第2日目は、筑波研究学園都市にある“建設省土木研究所”の見学でした。

研究学園都市のすばらしさにも驚かされましたが、土木研究所のスケールの大きさにはさらに目を見張るものがありました。風調施設・ダム研究施設・構造実験施設の見学では“日本の土木は明るいぞ”と思える施設の連続で、特に風調実験に使用する橋梁模型が2億円という説明に「ウォー」という響動がおきたほどでした。

今回NEP工業会の部会には初めて参加させて頂きましたが、非常に実り多い体験をすることができました。

最後にすばらしい工場を見学させて頂いた（㈱武井工業所さん）に心より感謝申し上げます。

NEP工業会品質管理委員会

株式会社 ミルコン  
技術部 星田 典行

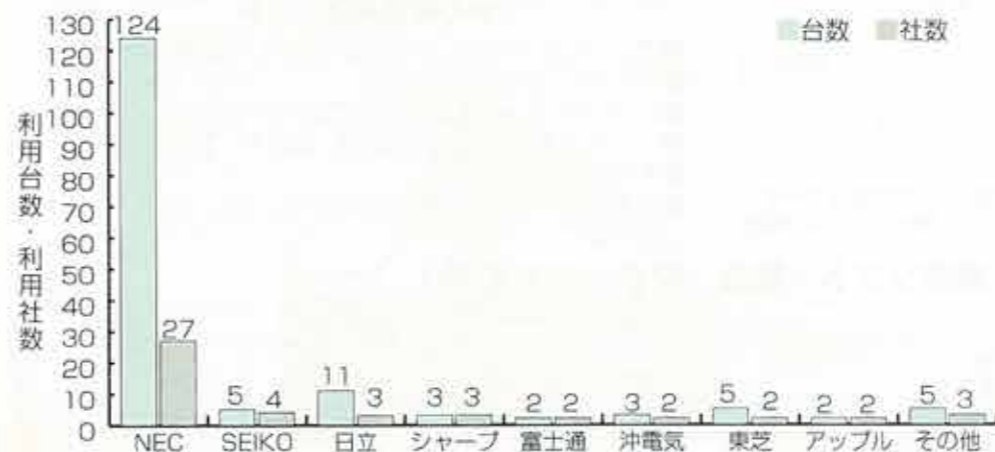


パソコン利用実態アンケート

アンケートに、回答を頂いた各社のみなさん、御協力ありがとうございました。各社の品質管理部門、設計部門での利用状況の集計結果です。今後の導入時の参考にして下さい。

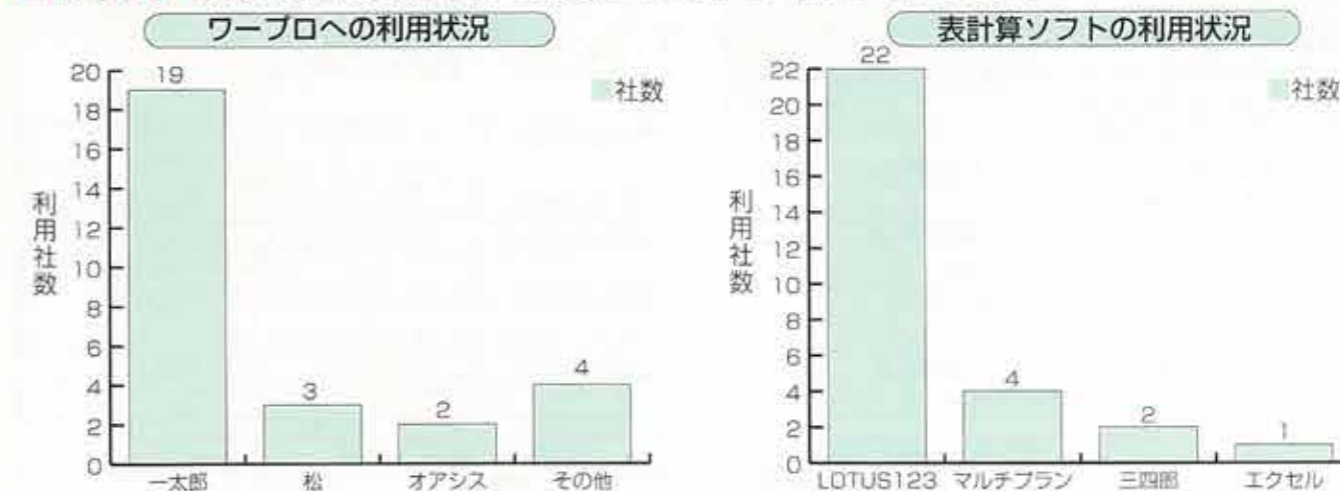
集計結果	回答社	33社	回答率	54.1%
利用実態	利用している	31社	利用していない	2社

■利用メーカー名、利用台数

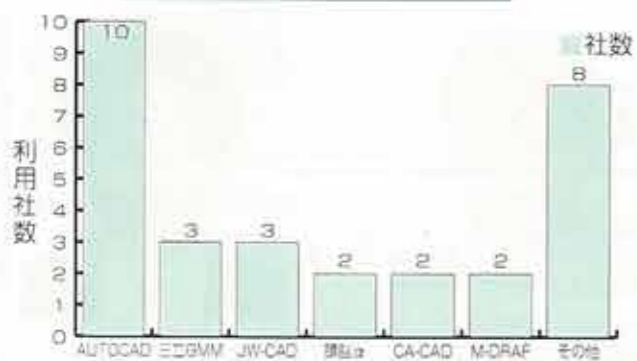


※各社平均利用台数5.2台、最高は21台でした。  
※NECの利用機種は全て9800シリーズのパソコンでした。ノートタイプは4社でした。  
※日立はCAD用の専用機種でした。  
※その他の機種では、IBM、リコー、パロースが1社づつでした。

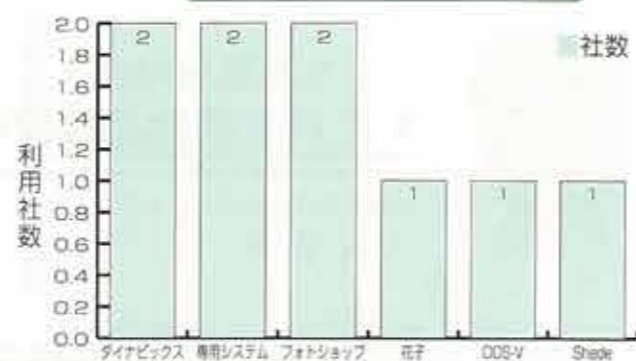
■利用分野（複数回答、及び無回答があり数値的に合わない部分があります。）



CADの利用状況 (27社利用)



CG利用状況 (8社利用)



**設計計算使用ソフト (回答社数)**

市販ソフト 5  
NEPソフト 7  
自社開発 8

**パソコン通信加入ネット**

PC-VAN 2  
ニフティー 4  
サーブ 4

**CADの出力装置**

静電 1  
レーザー 10  
ペンプロッター 19

**CADの出力可能FILE形式**

HPGL 1  
IGES 7  
DXF 19

**WINDOWSについて**

検討中 10  
利用していない 19

**パソコンの情報誌**

その他 2  
日経パソコン 4

**情報入手先**

広告チラシ 7  
販売代理店 14  
新聞・雑誌 8

**パソコン研究会のソフトについて**

使っていない 12  
使用している 20

**研究会ソフトを使用していない理由**

内容が新しくない 1  
機種が違ふ 1  
知らない 5  
知っている 4

**今後の開発希望ソフト**

- ニューウォルコンⅢ型コーナー部 (認定用、道路用) 設計計算
- SPブロックⅢ型安定計算
- FTフェリウム (試行くさび法) 統一ソフト
- ハイタッチウォール (認定用、道路用) 設計計算
- 大型水路計算ソフト
- ニューウォルコンの載荷重両条件ソフト

販売ソフト一覧表 (PC-9800用)

No	ソフト名 (内容)	使用言語	提供社	販売価格
1	ニュー・ウォルコンⅠ型標準部、コーナー部設計 (クーロン土圧・水平土圧・受動土圧)	N88-BASIC DOS-BASIC	京阪コンクリート	40,000
2	SPブロックⅠ・Ⅱ型 設計計算	TURBO C	永井コンクリート	50,000
	バージョン・アップ			20,000
3	井桁擁壁 設計計算	TURBO C	永井コンクリート	60,000
	バージョン・アップ			20,000
4	各種設計計算 (側溝蓋設計・FTフェリウム設計・方格安定・示力線安定・重心・換算荷重・土圧・変位法杭計算・応力・水理・曲げ試験・数学ユーティリティー等 37本)	N88-BASIC	出雲コンクリート	50,000
5	コンクリート圧縮管理図 (設定配合数: 5工場 8種類, X-Rs管理)	DOS-BASIC	ミルコン	80,000
6	円弧すべり計算	DOS-BASIC	ミルコン	50,000
7	ニュー・ウォルコンⅠ型道路用設計計算 (試行くさび法・寸法変更が可能)	DOS-BASIC	ミルコン	40,000
8	ミルウォール (L型擁壁) 設計計算 (試行くさび法)	DOS-BASIC	ミルコン	100,000
9	ニュー・ウォルコンⅢ型道路用設計計算 (試行くさび法・寸法変更が可能)	DOS-BASIC	ミルコン	150,000

申込先 株式会社 ミルコン 技術部 星田 典行  
(NEP工業会 パソコン研究会 事務局)  
TEL (0776)-54-0252 FAX (0776)-54-2086

## 我社の自慢コーナー

### 「高追加価値商品と異業種の展開」

株式会社 カネヤス  
代表取締役社長 杉浦 三樹男



入会まもない神奈川県秦野市の株式会社カネヤスでございます。所在地は箱根連山丹沢山系のふもとの秦野盆地です。秦野市は人口約18万人で昨今首都圏のベッドタウンとして、急激な人口増加となり、住宅・公共施設等、活発な開発が行われております。名産自慢は落花生があります。千葉県の落花生は有名ですが、それに次ぐ生産高です。又、たばこ栽培で有名でしたが、現在では生産農家こそありませんが、たばこ祭りが年1回盛大に行われ、夏の風物詩となっております。さらに、丹沢山系からの湧き水として日本100大名水の1つともいわれ、非常に水のおいしいところです。



を頂いております。最近では、陶板やレジンコンクリートを利用した商品化も進めており、付加価値商品への展開をめざしております。一方、関連事業としては旧大和工場跡地に健康センター遊湯村を建設し、数種のお風呂、カラオケボックス、ゲームセンター、和食レストランゆうゆう亭を組み込んだ総合レジャー施設の運営を行っております。特に最近のバブル崩壊後の不況

感で近くて安価なレジャー指向色でお客様の数も急激に伸び、一息ついております。全く畑違いのサービス業を始め、右も左もわからず、ただまじめにやってきましたが、顧客の心理や貴重な意見を頂きながら、一つ一つの経験を重ねながら勉強を

させられております。その経験を本業の経営に対しても大いに活用していくつもりです。これからも宜しくご指導、お願い申し上げます。

当社は、創業は川崎市から始まり、大和市そして現在の秦野市と拡げてまいりましたが、現在では秦野市に本社工場を置いております。創業時は建材店として始まりましたが、すぐにコンクリート製品製造を開始し、建材店を顧客の中心として県内にその市場を拡げ、宅地樹、建材店用品等の品揃えで、特に宅内樹の生産では県内一を誇っております。又、当社の特筆は霊園墓地でのカロートボックスの生産を開始し、官公庁中心の霊園開発に対して供給を促進し、カロートのカネヤスの実績

# 【伝言板】

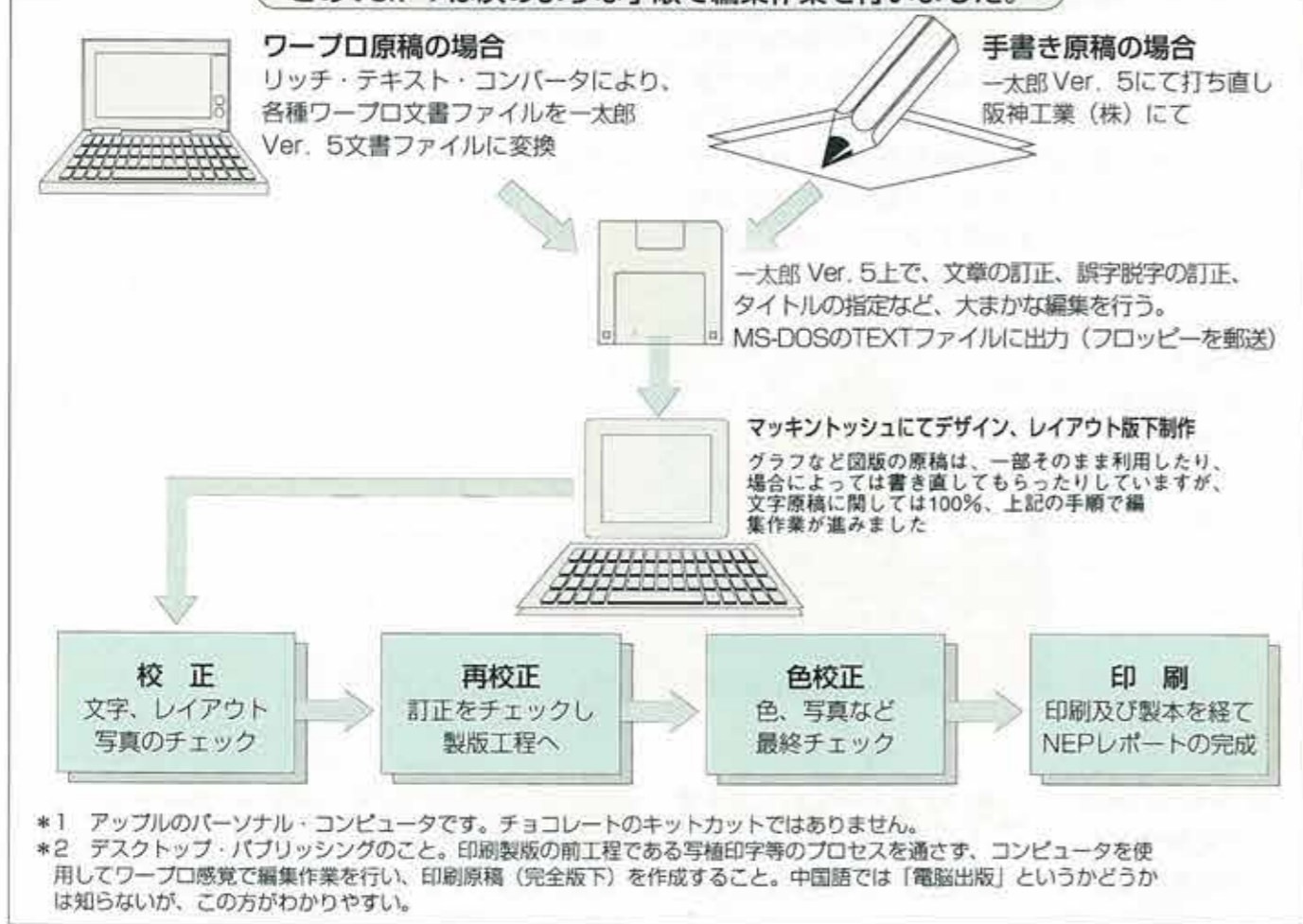
## NEP MESSAGE BOARD

### NEPレポートができるまで

総務委員長 衣笠仁浩

最近原稿をワープロで書くひとが増え、せっかく奇麗に印字して頂いた原稿を印刷屋さんの方で写植に打ち直して仕上げる、そんなプロセスがなんとなくもったいないように思っていました。前回のNEPレポートVol.6の編集打ち合わせのとき、デザインを担当頂いているデザインスタジオAVIの大小田さんから、たまたまマッキントッシュ 1<sup>\*</sup>によるDTP 2<sup>\*</sup>の話が出たため、ぜひ次号からはこのシステムを使って編集レイアウトを効率化し、冒頭に述べたような問題点を解決しようではないかということになりました。

このVol. 7は次のような手順で編集作業を行いました。



VOL・6において以下の誤りがありました。謹んでお詫びいたします。

- P.10 寺田章三さんのレポート10行目が1行抜けておりました。次の通りです。[言葉は、特に印象に残りました。セッションでは「小]
- P.16において以下の3点の誤りがありました。
  - ◆執筆者氏名（誤）中村茂美→（正）中村繁美
  - ◆2行目（誤）ホテル→（正）ホール
  - ◆また、執筆者氏名の上の写真は、執筆者ではなく記事の参考写真です。

### 編集後記

みなさんはどのようにゴールデンウィークを過ごされましたか？日本中が家族連れで帰省やレジャーに繰り出すときですので、私の場合、混雑する行楽地は避けて近場で過ごしました。会社の近所にある共進牧場へ行ったとき、もうすぐ3歳になる下の子供が放牧の牛を見て、「この牛、動く？」。ぬいぐるみではないので動いてあたりまえですが、じっと寝ている牛を見ているとそんな風に思えるのでしょうか。「動く牛」にたいそう驚いた様子でした。たまたま近くにいた若いカップルの女性は牧草を食べている牛の舌を見て、「あれがタンやね」。牛の舌をタンと呼ぶなら、ウシとは言わずにギューと言ってもらいたいものです。家の近所の博物館へ行ったとき、復元した弥生式土器を見ていた小学2年生の娘に、「お菊さん

の割ったお皿はどこにあるの？」ときかれて唖然。10年は一昔と言いますから、江戸時代も弥生時代もいずれも同じ大昔には違いありませんが…。そういえば時の経つのは早いもので、NEP工業会も組織と運営体制を変えて早1年。間もなく総会が開催されます。各委員会ともにたいへん活発に活動し、様々な成果が残りました。6月23日の総会の翌日には、1年間の活動の総まとめとして「トップ・マネジメント・フォーラム (TMF)」(仮称)を開催する予定です。各委員会から業界の抱える諸問題とその対策が提起されます。各種事業に出られなかった方も、半日で全てがわかる(!?)、そんな企画にしたいと思っています。ぜひともご参加下さい。

(Y.K.)